



No. 21

東京都立竹台高等学校同窓会会報  
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-14-1

編集と発行=さつき会

さつき会 ホームページ 新アドレスは <http://www.竹台さつき会.com>  
[www.takedai-satsukikai.com](http://www.takedai-satsukikai.com)

(パソコンの機種によって漢字アドレスが検索できない場合、英文アドレスを使用ください)



2011年5月3日(火)、“サンパール荒川”で開催された東日本大震災支援チャリティーコンサート

# 竹台高校に着任して



都立竹台高等学校長  
町田 静 隆

平成23年度に、校長に着任した町田と申します。(といっても、本会報が出る頃にはもう1年たっているわけですが)22年度までは、世田谷区の桜上水にあります松原高校の校長をしておりました。松原では着任2年目で、あと定年まで2年間しかないので、ここで定年かと思っていました。3月14日の管理職異動内示に行きましたところ、竹台高校へ異動せよということ、いろいろな意味でびっくりしました。というのも、あと残り2年しかないのに異動ということもさることながら、実は過去に竹台高校に在籍していたことがあったことです。去年の70周

年記念誌の教職員在籍一覧をご覧いただくと、平成13年の国語のところ名前があるのにお気づきになると思います。平成12年から13年まで2年間竹台高校に在籍しておりました。ふつう、過去にいた高校には異動させないのが異動の原則なので、それはびっくりしました。その当時は、平成11年に管理職試験に合格し、2年間の任用前研修をということで、竹台高校に異動してきていたのです。その当時の校長は横山正先生で、横山先生には、管理職候補とは名ばかりの右も左も分からない私を、細やかにご指導いただきました。私が校長として今日あるのも横山先生のお陰だと思っております。

さて、当時の竹台高校はと申しますと、非常に組合の強い学校で、主任制反対や60周年式典の実施をめぐる、教員が管理職と対立するという状況でした。さつき会の全面的なバックアップを受けて、何とか管理職主導で60周年行事を乗り切ったのを覚えております。そして、昨年3月末に引継ぎのため竹台高校を訪れて、更にびっくりしま

した。まず、校舎が10年前と全く変わっていないのです。10年前でもかなりの老朽校舎で、バリアフリーからは全くかけ離れた校舎の上に、プールがないという都立高校唯一(?)の学校でした。校長としての2年間の在職の間に(もうあと1年ですが)何とか改築の計画にのせるだけでも、さまざまな機会をとらえて、教育委員会に全面改築を訴えておりますが、いまだ「なしのつぶて」状態です。しかし、今年度もあきらめず、いろんなところで話をしているかと思っております。あと残り1年ではございますが、皆様のご協力の下、何とか少しでも竹台をよくしたいかと思っております。よろしくお願いたします。

## 平成22年度・平成23年度 竹台ファンダ決算報告

月日	項目	収入	支出	残額
H23.6.23	周年記念事業会計より引き継ぎ	1,640,628		
H23.8.22	預金利息	142		
H23.8.30	後援会「たけとも」会計より	25,907		
H23.8.30	「別口」会計より	21,046		
H24.2.20	預金利息	135		
	計	1,687,858	0	1,687,858

## 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート

5月3日(火)、

サンパール荒川で「伝えよう この町の心を」と題して東日本震災復興支援チャリティーコンサートが開催された。



さつき会も義援金募集に一役

釜石市と荒川区が姉妹都市を結んでおり、東日本、そして釜石市の復興を支援と震災で中止となった、3月の定期演奏会も兼ねて開催された。

母校の吹奏楽部、OB、そして支援の他校吹奏楽部、釜石市のみなさんも参加。会場は、満席の大盛況。素晴らしい演奏に力強い復興への思いを新たにしたいコンサートでした。



# 学校運営連絡協議会レポート

近年、都立高校を取り巻く環境は非常に厳しく、数年前から統廃合等が話題となり、多くの都立高校が統廃合されています。母校竹台高校も例外ではなく、過去統廃合の危機を乗り越え、荒川区唯一の都立高校として、現在に至っています。

母校の存続、より良い環境作りを目指した「学校運営連絡協議会」を設置。現役教師、地域代表、近隣中学校校長、保護者会、後援会、さつき会の代表で構成。

生徒の生活指導、進路相談など竹台高校を取り巻く様々な問題を協議し、地域に根ざした学校発展を目指し、定期的に開催されています。

さつき会では、今後現役生徒に対し、キャリア教育について、積極的に協力。現役生徒の将来に向けてのアドバイス等を計画中です。

実社会で活躍されているさつき会会員の皆様のご協力を戴き、現役のキャリアアップを図ればと思っています。

具体的な展開につきましては、決定次第、会員の皆様にご報告いたします。

会員の皆様のご協力を仰ぐこともあると思えます。その際はよろしくご協力の程、お願いいたします。

## 課外授業

母校では、生徒の職業観・勤労観の形成に向けて各学年でキャリア教育の強化に取り組むことになり、進路指導部から協力依頼を頂きました。さつき会では平成15年・

17年・18年の3回、2年進級直前の1学年対象に会員有志が講師になり「課外授業」を開催した実績があり、今回もお引き受けすることに致しました。今回は全学年が対象です。

◆新三年生のテーマは「働くこと、学ぶこと」。働くことについて考えることを通して、どう学ぶかという進路への視点を確認する。

◆新二年生のテーマは「様々な職種と企業の社会貢献活動」。6〜7職種を取り上げ、仕事の内容・特性・働き甲斐・目指すにはどんな勉強が必要か・努力・心構え等を知る。

◆新一年生のテーマは「課外授業」。様々な(8テーマ)な職業について理解、興味を拡げる。

具体的には、進路指導部を中心に、各学年主任の先生方、保護者会役員の皆様、さつき会役員・常任幹事の皆様、等関係者の方々と企画を詰め準備を進めております。(比屋根)

## 同好会「古典を読む会」案内

年間予定は下記参照ください。会場は日暮里ホテルラングウッド5Fサニーホール参加申し込み・お問い合わせ先

「古典を読む会」講師・村山武男(高校6回卒)

時間は全て14:00~16:00です

4月	28日(土)	10月	6日(土)
6月	2日(土),30日(日)	11月	10日(土)
7月	28日(土)	12月	15日(土)
9月	8日(土)	*尚、会場の都合により変更が生じた場合は、お知らせいたします。	

お世話役・高橋純子(高校15回卒)  
TEL:048196213936

## 「尾久初空襲を忘れないコンサート」に母校 吹奏楽部・演劇部が協力出演

昭和十七年四月十八日、太平洋戦争勃発の僅か四ヶ月後、米軍機により荒川区尾久地区をはじめとして本土初空襲をうけた。その被爆地である荒川区尾久橋町会(会長田村正彦氏)ではこの史実を深く心に留めると共に、未来を担う青少年に語り伝えたいと「尾久初空襲を忘れないコンサート」を開催している。



本年はその第四回目、被爆七十周年に当り母校吹奏楽部・演劇部が協力出演することになった。尚、さつき会々員村山岳生氏(本名武男)高校六回卒)が構成・演出を担当する。ぜひ御来場を

四月十五日(日)  
サンパール荒川大ホール  
午後一時開場・一時半開演  
入場無料  
主催 尾久橋町会  
後援 荒川区・荒川区教育委員会

母体保護法 指定医  
入院手術応需 不妊外来

# 加藤産婦人科

名譽院長 加藤辰吉  
院長 加藤寛彦  
薬剤師 加藤和子(昭和21年卒)

午前9:00-12:00 (水・土曜午後休診)  
午後3:00-6:00 休診日:日曜・祝日

町屋駅下車 徒歩2分、稻荷神社前  
荒川区町屋2丁目9-21 ☎3895-3521

カラオケ・スナック **21**  
03-3574-0609 にじゅういち 2F  
(1F:婦人洋品店)

三越 京橋 和光 松坂屋 中央信託 東京三菱銀行 新橋 資生堂 パーラー

東京都中央区銀座7丁目9-10 銀七ビル2F  
川崎 裕子 (昭和38年卒)

